第２章

岩国市の現状と課題

1. 現状と課題を整理する視点
2. 岩国市の現状と将来見通し
3. 岩国市の現状と集約型都市づくりに向けた課題の整理

第２章　岩国市の現状と課題

１．現状と課題を整理する視点

国においては、「コンパクト・プラス・ネットワーク」による集約型都市づくりを推進するため、都市全体の観点から、目指すべきまちづくりの方針を見据えながら、道路網等の都市施設、人口の集積状況、主要な公共交通路線、都市機能施設、公共施設の配置等をもとに、将来においても持続可能な都市の骨格構造を抽出することが重要とされております。

そのため、本市の都市計画区域内において、①「拠点」の形成、②「市街地」の集約・整理、③「拠点間ネットワーク」の形成の３つの視点から集約型都市づくりの方針を定める必要があるため、本章では、この３つの視点から本市の状況を把握し、現状と課題を整理します。

なお、計画対象区域が広範囲であることから、以下の３地域に分割して図面を掲載します。

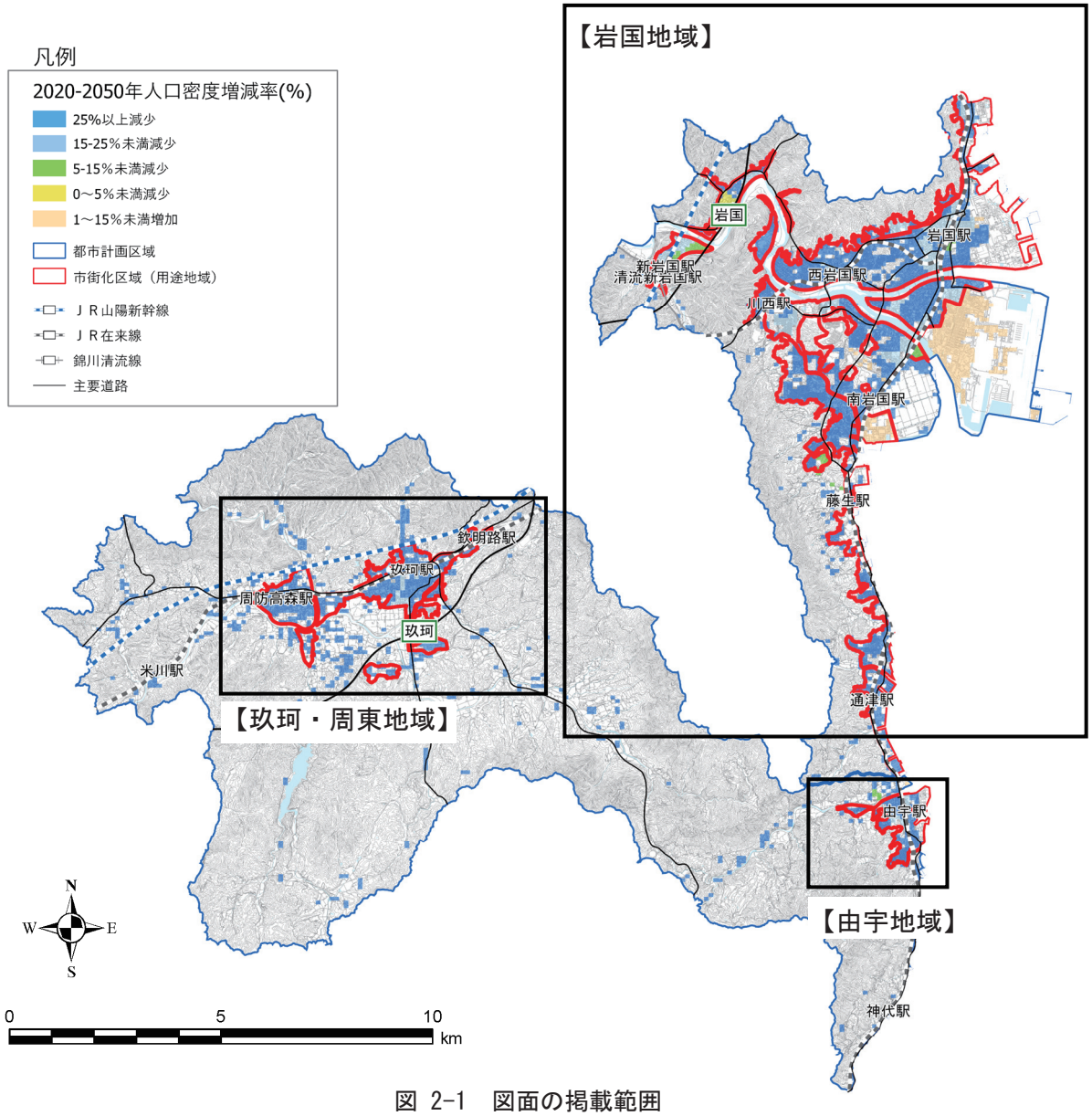


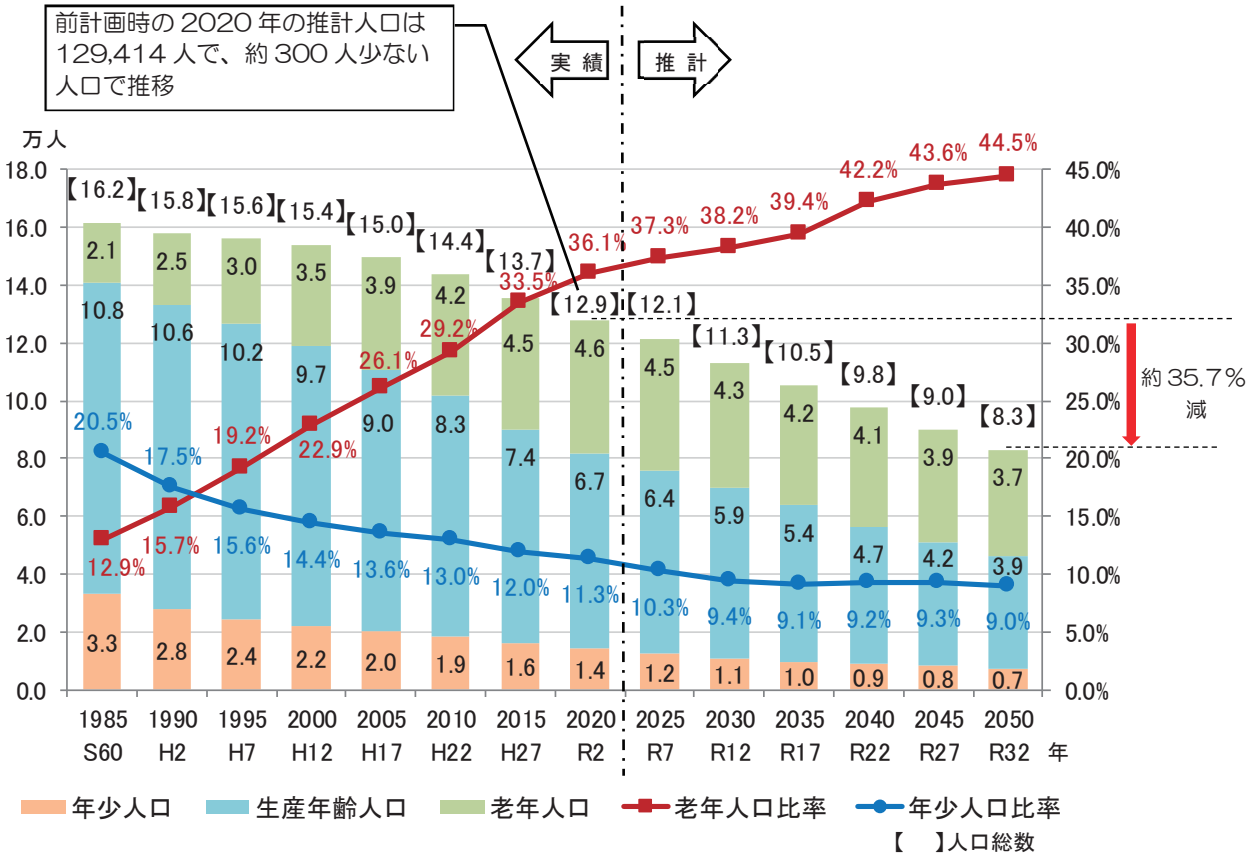
図 2-1　図面の掲載範囲

2．岩国市の現状と将来見通し

2－1．人口及び人口密度の状況

- 2020（令和2）年の本市の国勢調査人口（以下、「人口」）は 129,125 人で、減少傾向が続いています。【図 2-2】
- 2020(令和2)年の人口は、2015(平成27)年国勢調査を基にした推計人口(129,414人）より約 300 人少ない人口で推移しています。【図 2-2】
- 2050（令和 32）年の人口は、市全域で減少し、2020（令和 2）年よりも約 35.7%減少すると推計されています。【図 2-2】
- 年齢階層別人口では、少子高齢化が進行しており、1995（平成7）年に老年人口が年少人口を上回り、その差は年々広がっています。今後は、年少人口・生産年齢人口は減少し続け、老年人口も減少に転じることから、人口減少は更に進行すると推計されています。【図 2-2・表 2-1】
- 人口は岩国地域に集中する傾向にあり、2015（平成 27）年以降は 70%以上を占めていますが、その岩国地域においても 1980（昭和 55）年をピークに人口減少が進んでいます。【図 2-3】
- 人口密度も市全域で減少すると推計されており、2050（令和 32）年に、市街地の基準となる 40 人/ha 以上を維持しているのは、岩国地域では錦川沿いの市街地や南岩国地区、また、由宇・玖珂・周東地域の一部に限られています。【図 2-4～6】
- 2020（令和2）から 2050（令和 32）年にかけての人口密度増減率をみると、25%以上減少する箇所が市全域で多くみられます。【図 2-7・8】
- 高齢化は市全域で進行しており、2050（令和 32）年には、市全域で高齢化率 40%以上が広く分布し、岩国地域の城下町地区や由宇地域の丘陵部の住宅団地、周東地域の一部などでは、50%以上の地区がみられるようになります。【図 2-9～11】

■人口の推移



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

※実績値：総人口は年齢不詳を含んでいる。老年人口比率、年少人口比率は年齢不詳を除いて算出している。

推計値：2020(令和 2)年国勢調査を基にした推計値。3 区分人口は年齢不詳を按分して算出している。

図 2-2　年齢階層別人口と人口比率の推移

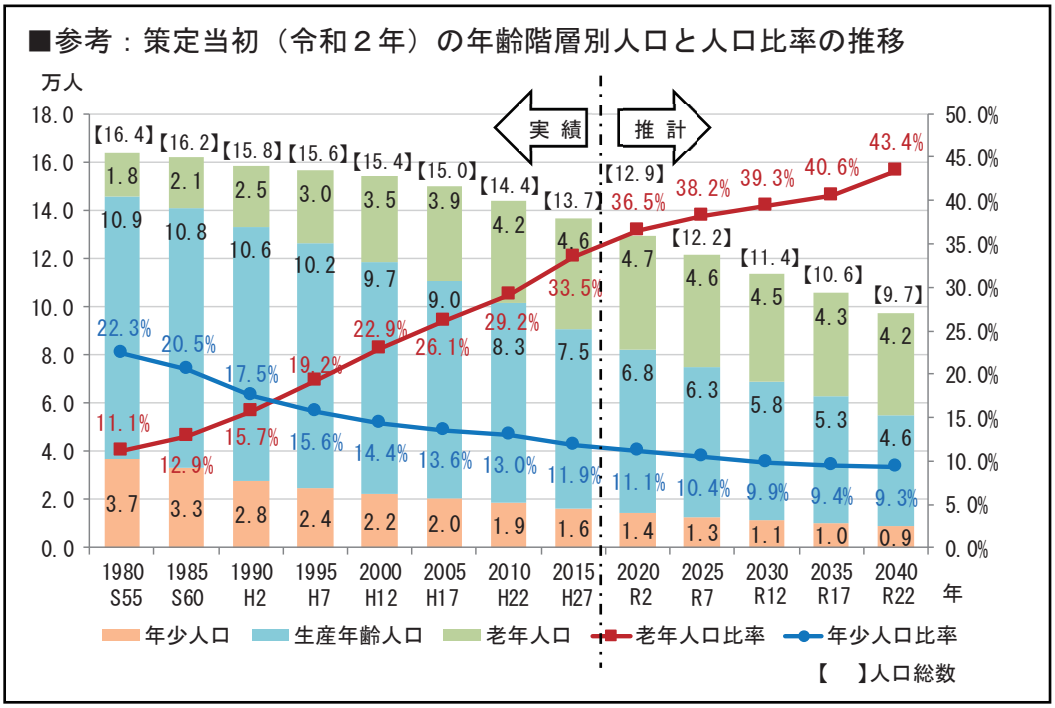


表 2-1　年齢階層別人口と人口比率の推移

（人口　単位：人）

		総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口比率	老年人口比率
1985（ S60 ）	実績値	161,682	33,102	107,731	20,840	20.5%	12.9%
1990（ H2 ）		158,293	27,660	105,580	24,814	17.5%	15.7%
1995（ H7 ）		156,347	24,441	101,909	29,954	15.6%	19.2%
2000（ H12 ）		153,985	22,142	96,588	35,218	14.4%	22.9%
2005（ H17 ）		149,702	20,294	90,269	39,035	13.6%	26.1%
2010（ H22 ）		143,857	18,596	83,058	41,912	13.0%	29.2%
2015（ H27 ）		136,757	16,187	73,838	45,401	12.0%	33.5%
2020（ R2 ）		129,125	14,495	67,305	46,114	11.3%	36.1%
2025（ R7 ）	推計値	121,264	12,435	63,617	45,212	10.3%	37.3%
2030（ R12 ）		113,227	10,667	59,296	43,264	9.4%	38.2%
2035（ R17 ）		105,377	9,625	54,224	41,528	9.1%	39.4%
2040（ R22 ）		97,684	9,023	47,462	41,199	9.2%	42.2%
2045（ R27 ）		90,185	8,360	42,485	39,340	9.3%	43.6%
2050（ R32 ）		83,047	7,484	38,619	36,944	9.0%	44.5%

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

※実績値：総人口は年齢不詳を含んでいる。年少人口比率、老年人口比率は年齢不詳を除いて算出している。

推計値：2020(令和 2)年国勢調査を基にした推計値。3 区分人口は年齢不詳を按分して算出している。

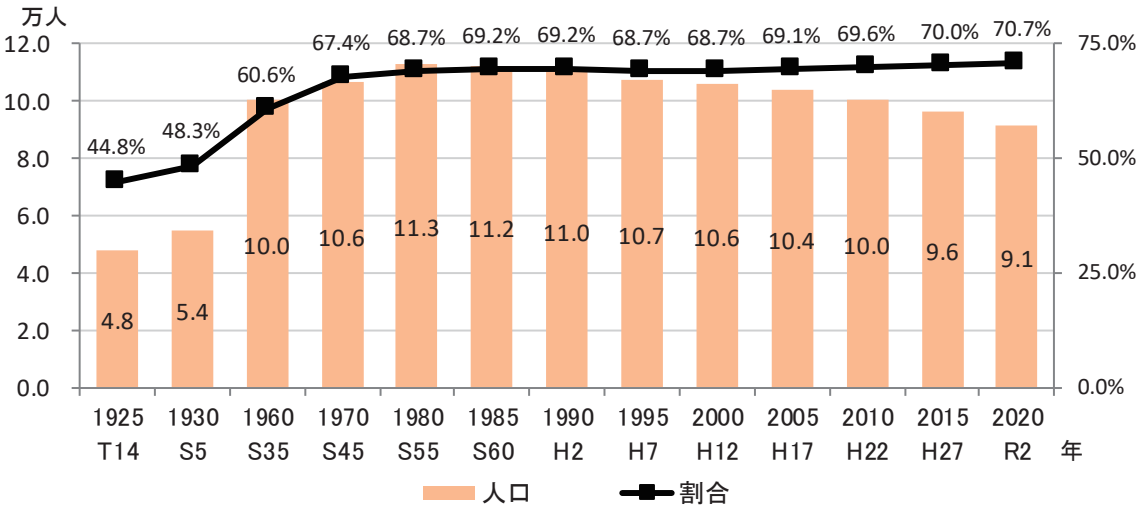


図 2-3　岩国地域の人口と本市全人口に占める割合の推移

出典：国勢調査

■人口密度

【岩国地域】2020（令和 2）年

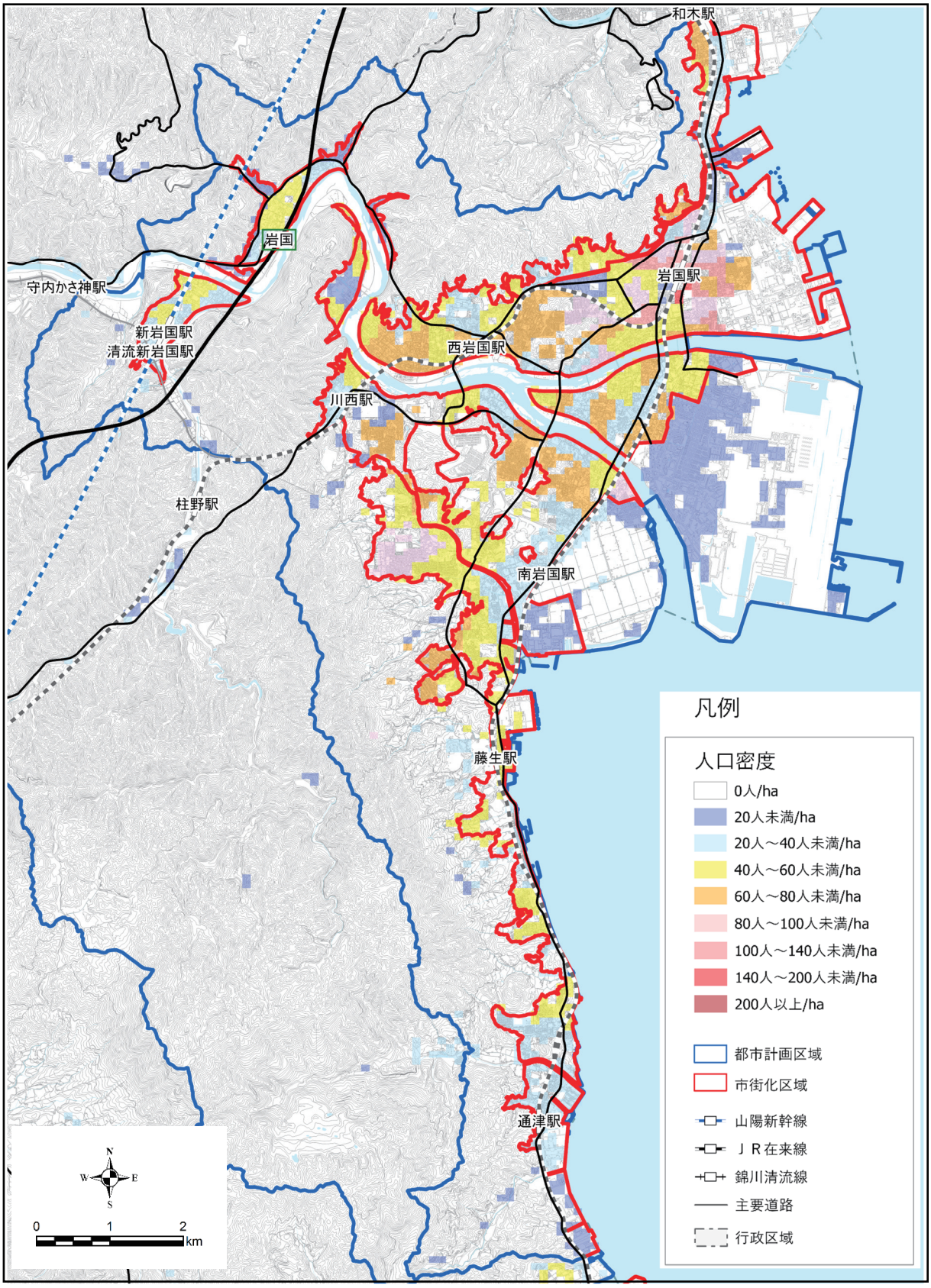


図 2-4　2020(令和2)年人口密度（100mメッシュ）

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、
国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を用いた計算結果を加工して作成

■人口密度

【岩国地域】2050（令和32）年

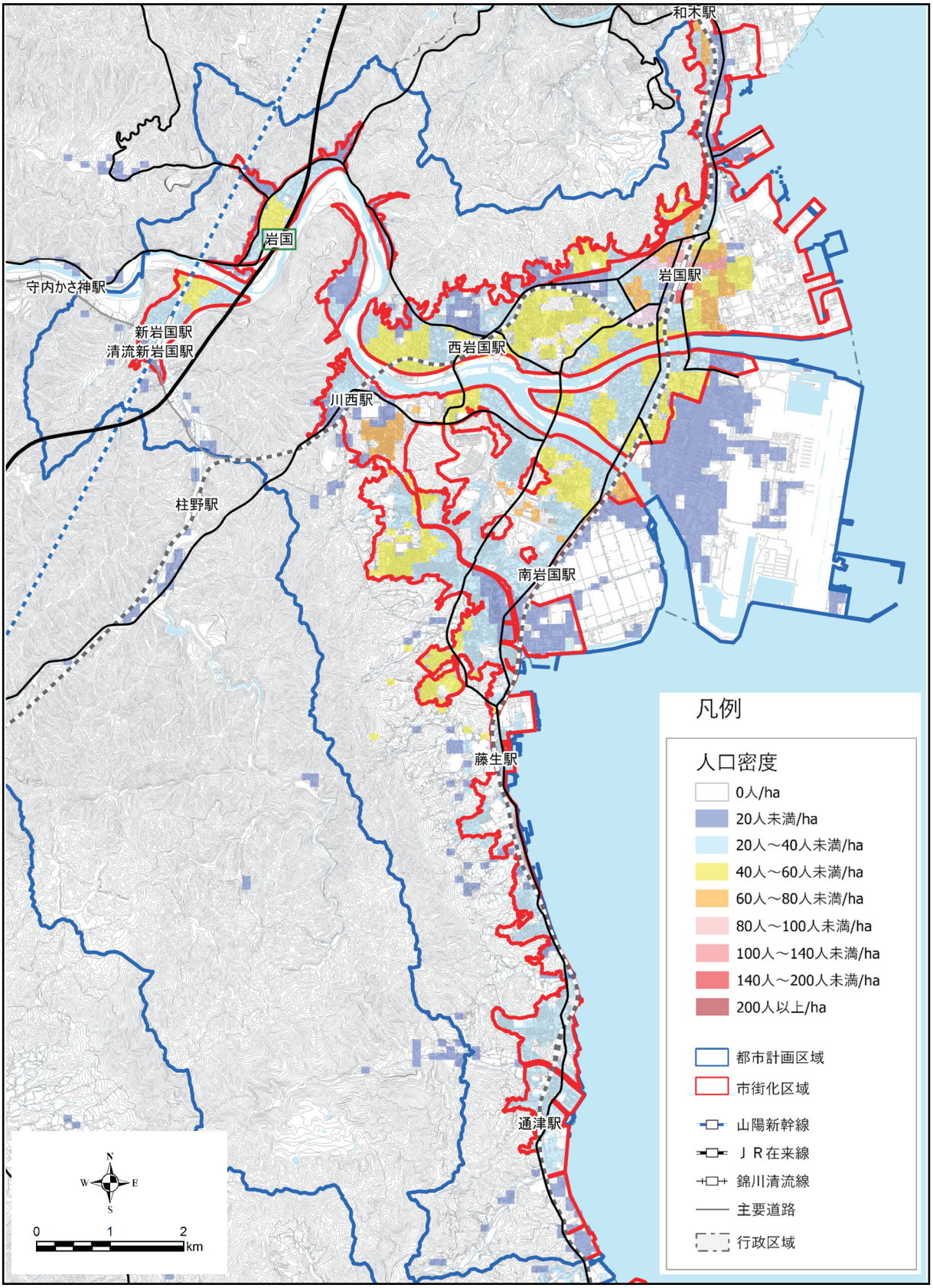


図 2-5　2050(令和32)年人口密度（100mメッシュ）

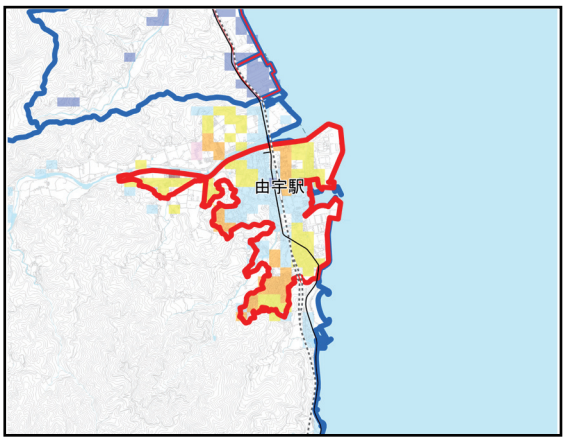
出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、
国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を用いた計算結果を加工して作成

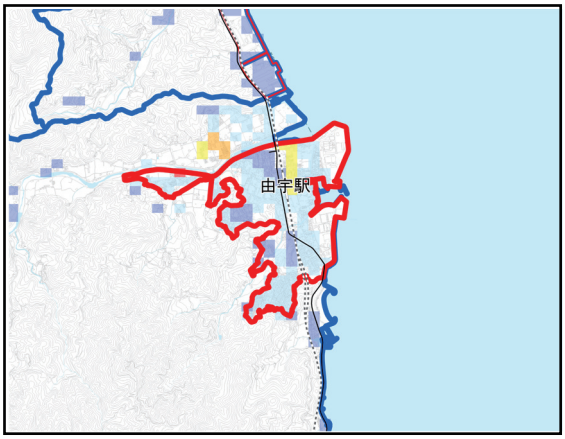
■人口密度

【由宇地域】

2020（令和 2）年

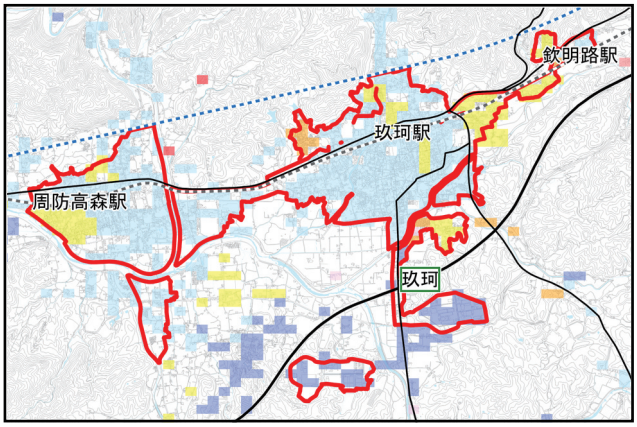


2050（令和 32）年

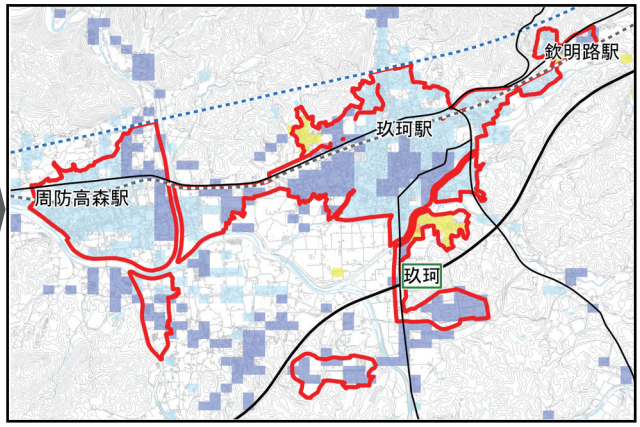


【玖珂・周東地域】

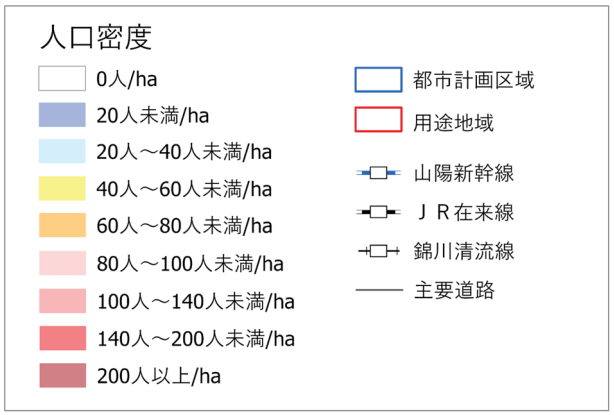
2020（令和 2）年



2050（令和 32）年



凡例



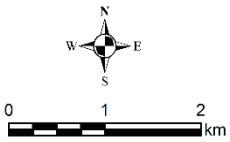


図 2-6　2020(令和2)年・2050(令和32)年人口密度（100mメッシュ）

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、
国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を用いた計算結果を加工して作成

■人口密度増減率

【岩国地域】

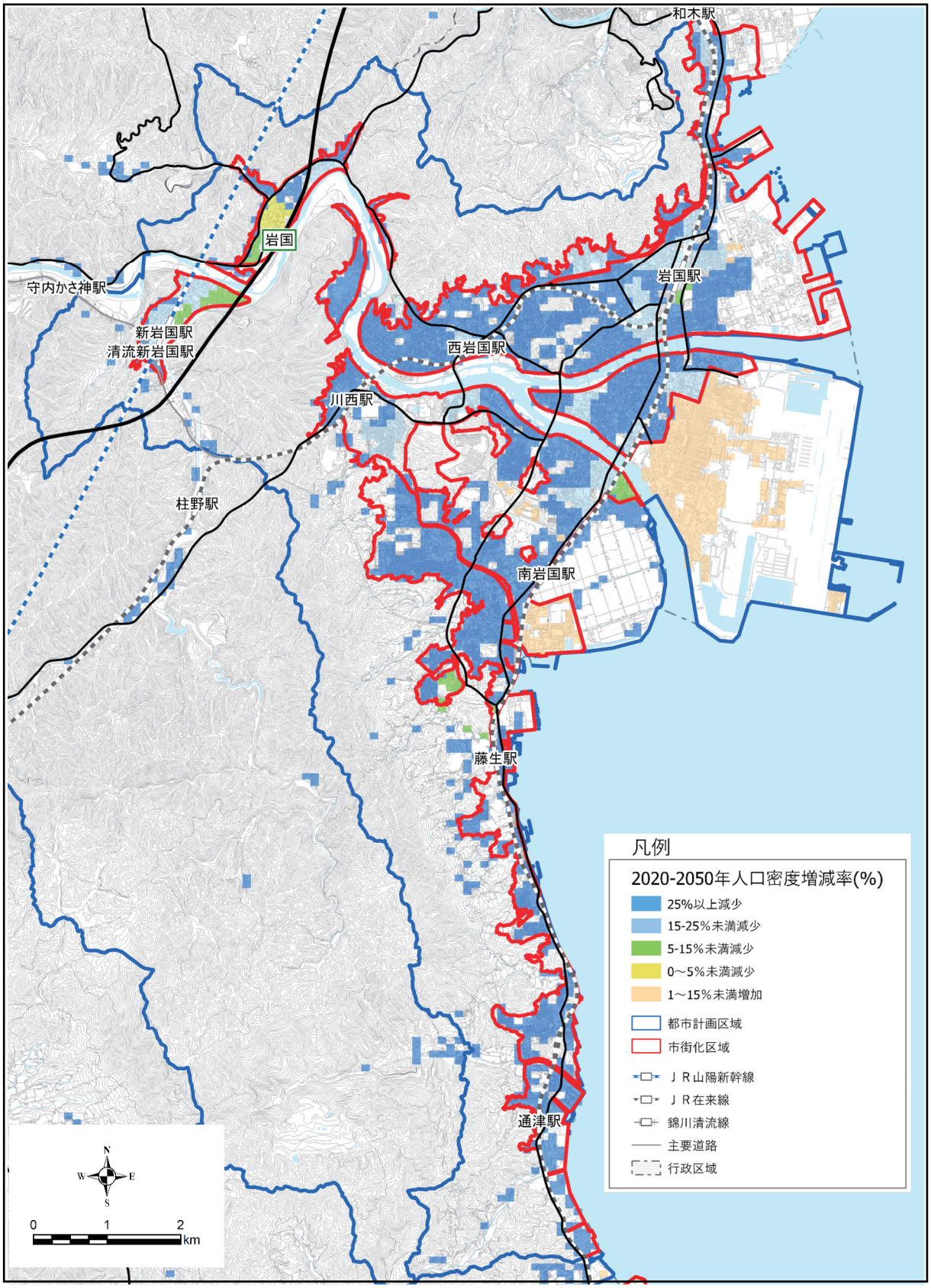


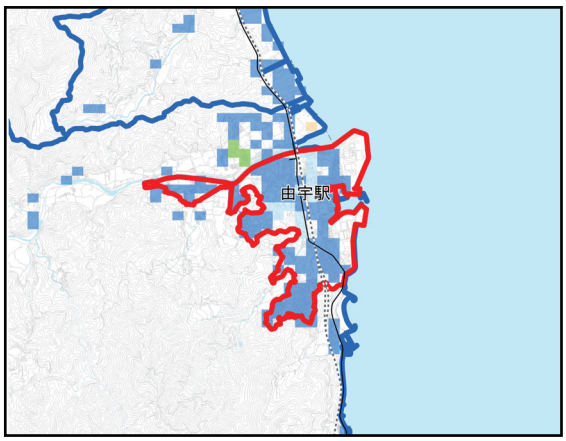
図 2-7　2020(令和2)年・2050(令和32)年人口密度増減率（100mメッシュ）－1

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、
国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」

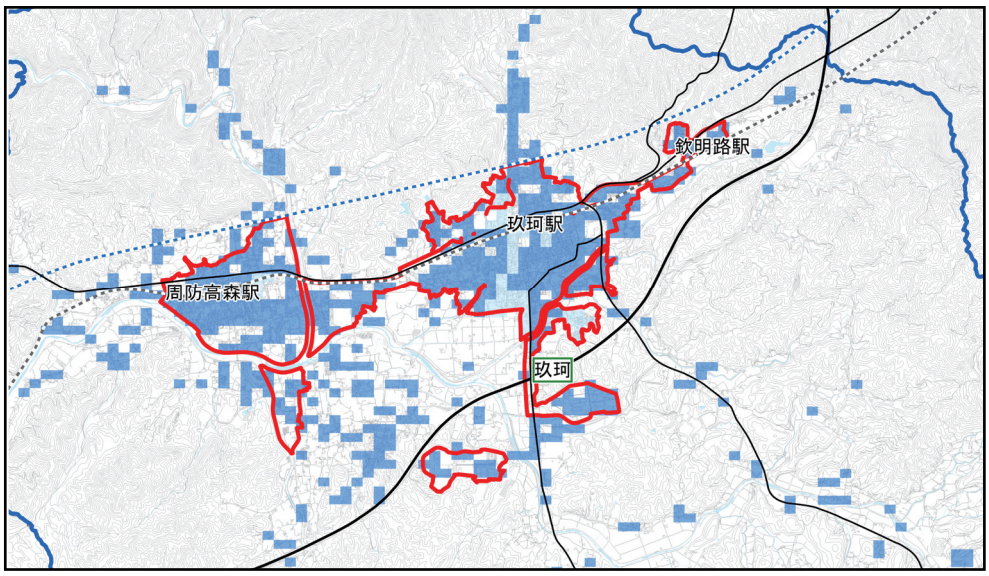
※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を用いた計算結果を加工して作成

■人口密度増減率

【由宇地域】



【玖珂・周東地域】



凡例

2020-2050年人口密度増減率(%)

- 25%以上減少
- 15-25%未満減少
- 5-15%未満減少
- 0～5%未満減少
- 1～15%未満増加

- 都市計画区域
- 用途地域
- ＪＲ山陽新幹線
- ＪＲ在来線
- 錦川清流線
- 主要道路

N W E S

0 1 2 km

図 2-8　2020(令和2)年・2050(令和32)年人口密度増減率（100mメッシュ）－２

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、
国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を用いた計算結果を加工して作成

■高齢化率

【岩国地域】2020（令和2）年

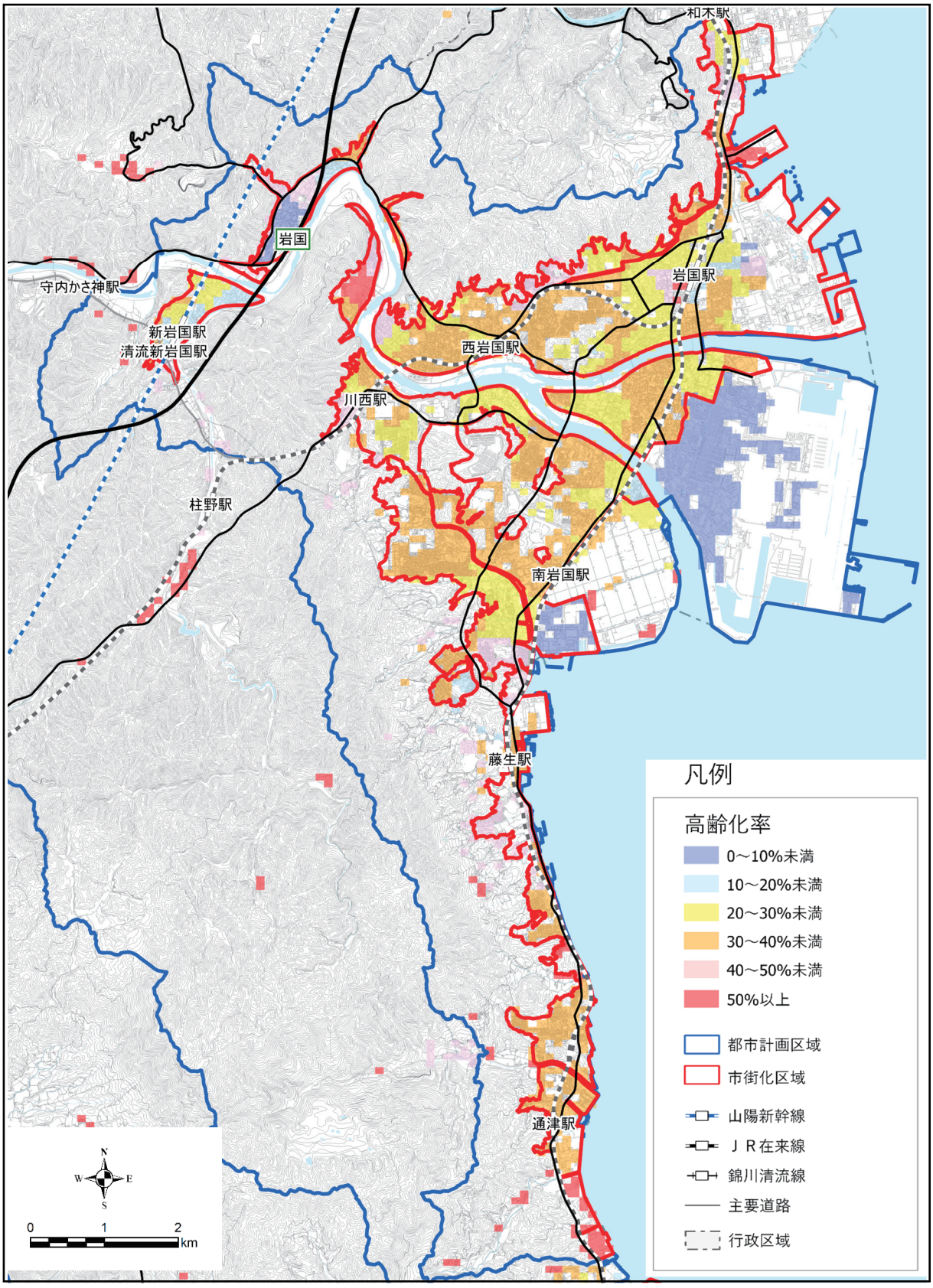


図 2-9　2020(令和2)年高齢化率（100mメッシュ）

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、
国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を用いた計算結果を加工して作成

■高齢化率

【岩国地域】2050（令和32）年

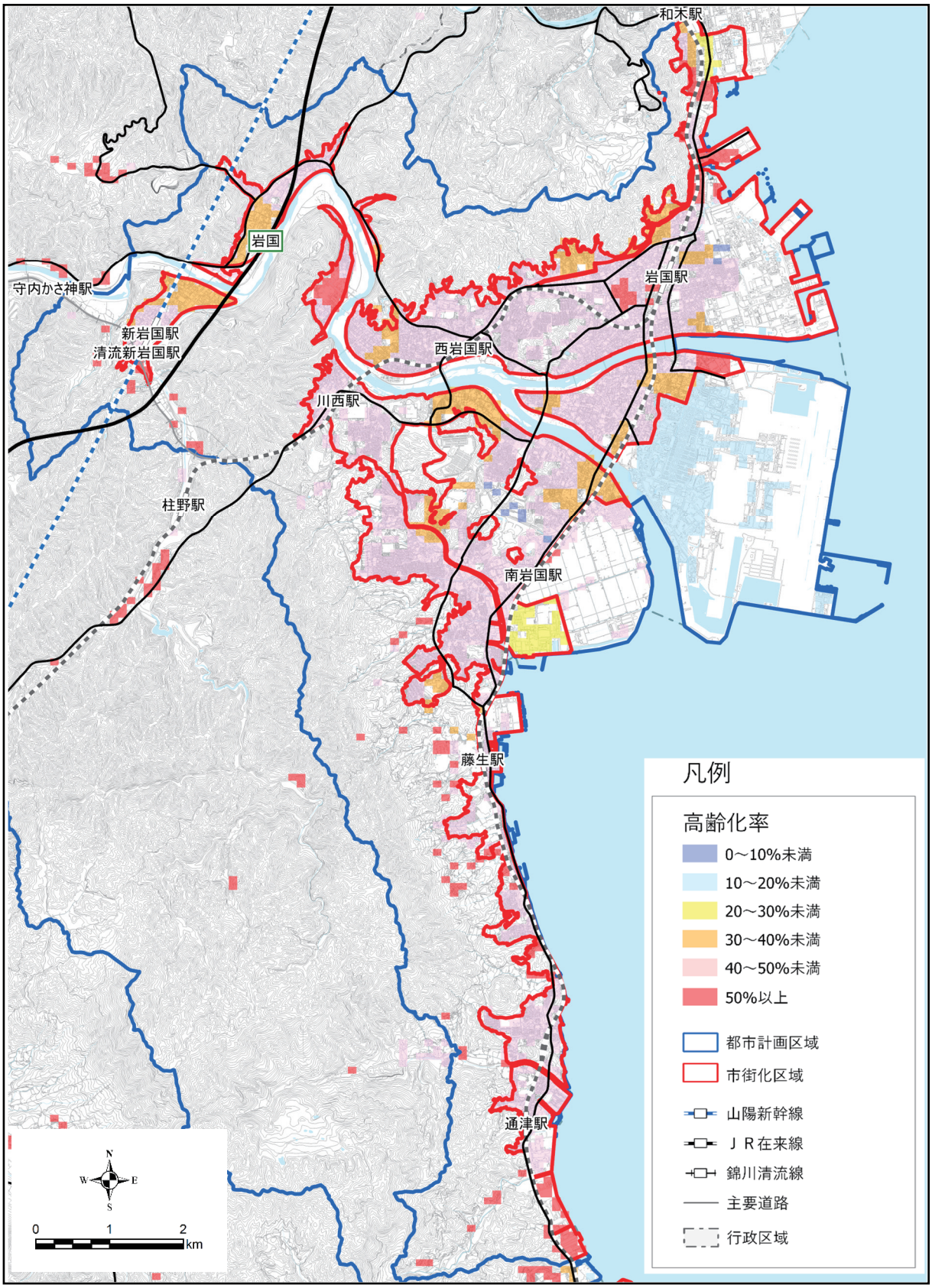


図 2-10　2050(令和32)年高齢化率（100mメッシュ）

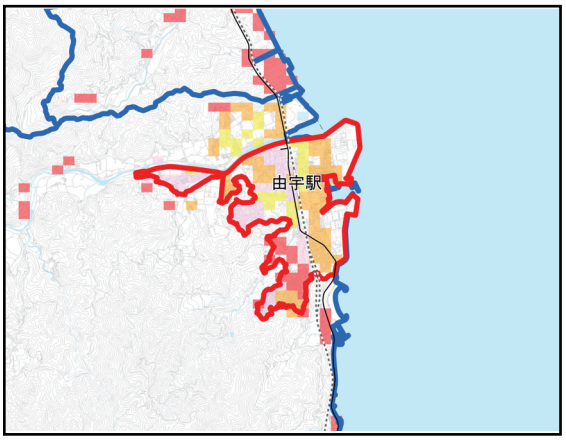
出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、
国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を用いた計算結果を加工して作成

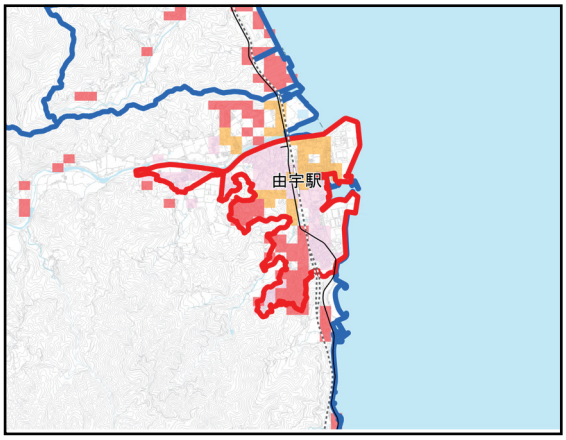
■高齢化率

【由宇地域】

2020（令和 2）年

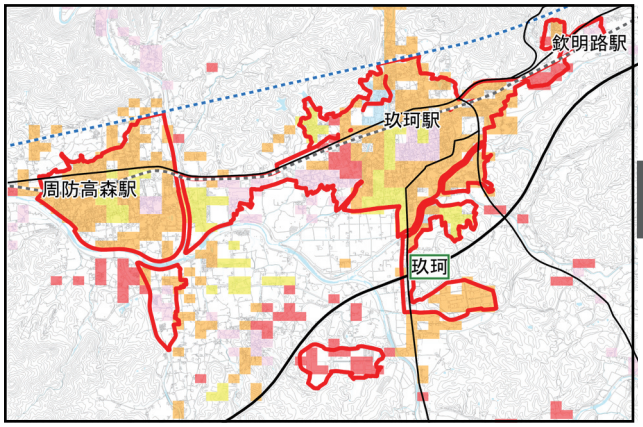


2050（令和 32）年

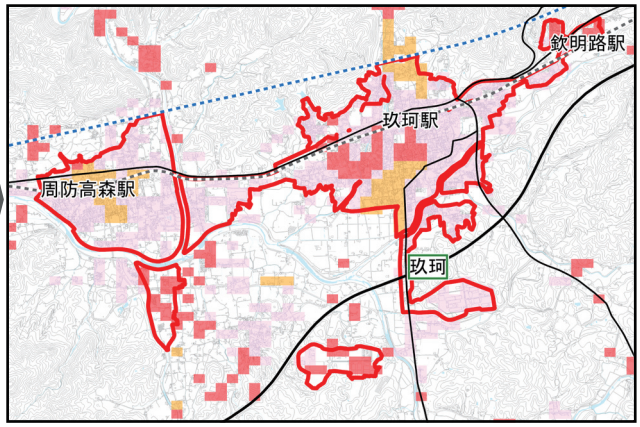


【玖珂・周東地域】

2020（令和 2）年



2050（令和 32）年



凡例

高齢化率

- 0～10%未満
- 10～20%未満
- 20～30%未満
- 30～40%未満
- 40～50%未満
- 50%以上

- 都市計画区域
- 用途地域
- 山陽新幹線
- ＪＲ在来線
- 錦川清流線
- 主要道路

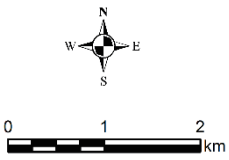


図 2-11　2020(令和2)年・2050(令和32)年高齢化率（100mメッシュ）

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、
国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」

※国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツールV3（R2 国調対応版）」を用いた計算結果を加工して作成

２－２．市街化の動向

- 岩国地域は、近世期の城下町の整備と臨海部での開作により現在の市街地にあたる土地が形成され、臨海部は、紙・パルプ、繊維等の工場や石油化学コンビナートが立地する工業都市として発展するとともに、旧日本海軍による岩国飛行場の建設を経て、戦後は米軍岩国基地が置かれたことで、基地の所在するまちとして現在に至っています。
- 由宇地域は、中世から港町として栄えた地域で、近代以降の沿岸部での産業立地等に伴い、丘陵部において大規模な開発団地が整備されました。
- 玖珂・周東地域は、近世期に旧山陽道に面した内陸の交通の要衝として、玖珂宿や周防高森宿が栄え、国道２号や山陽自動車道等の広域幹線道路の整備とともに、工業団地等の整備が進んでいます。旧山陽道の宿場町や道路に沿って小規模な開発等が進み、用途地域*の縁辺部等で農地と宅地が混在する低密な市街地が形成されています。
- 人口集中地区*（以下「ＤＩＤ」という。）は岩国地域でみられますが、人口減少が進行する中、ＤＩＤ面積は、近年は緩やかになっているものの、拡大し続けています。そのため、ＤＩＤ人口密度は減少しており、市街地の低密度化が進行しています。【図 2-12・13】
- 2017（平成 29）年から 2023（令和５）年の開発許可*の状況は、岩国都市計画区域では 90.2%が市街化区域で行われており、住宅開発が多くを占めていますが、非線引き都市計画区域*である岩国南都市計画区域では、用途白地地域*での開発が 44.4%となっています。【図 2-14・15、表 2-2】

■ＤＩＤの推移

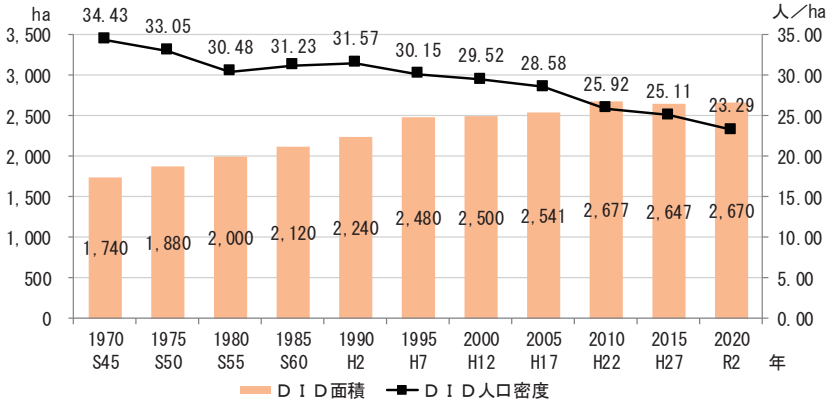


図 2-12　ＤＩＤ面積とＤＩＤ人口密度の推移

出典：国勢調査

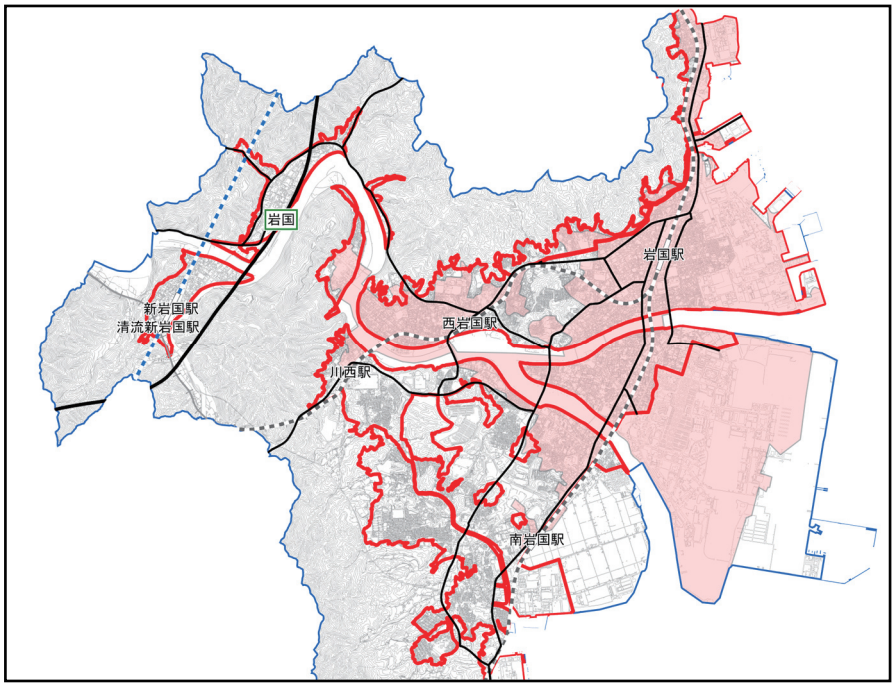
コラム　DID（人口集中地区）面積が拡大し、その中の人口密度が減るとどうなるか？

ＤＩＤ面積が拡大しても、その中にいる人口が減少しているということは、人口が郊外に分散していることを意味しています。

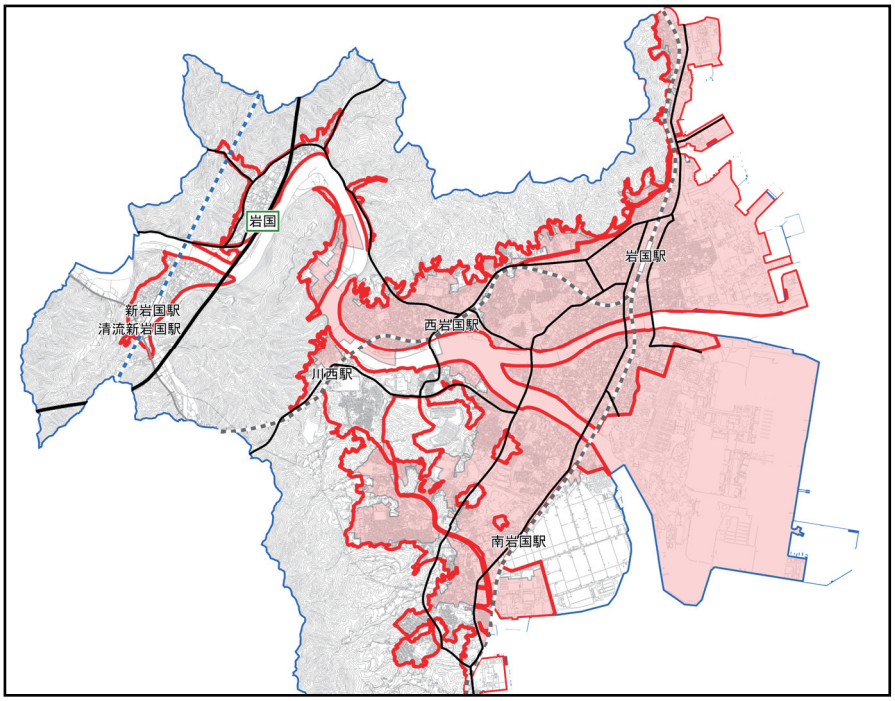
このままの状態では、まちの中心部のにぎわいの低下や、拡散した市街地でのインフラ整備や維持管理による財政負担が増えるなどの問題が生じるおそれがあることから、岩国市立地適正化計画では、集約型都市づくりを目指しています。

■ＤＩＤの推移

1975（昭和 50）年



2020（令和 2）年



凡例

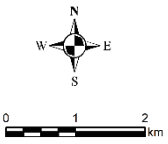


図 2-13　ＤＩＤの推移

出典：国土数値情報

■開発許可の状況

【岩国地域】

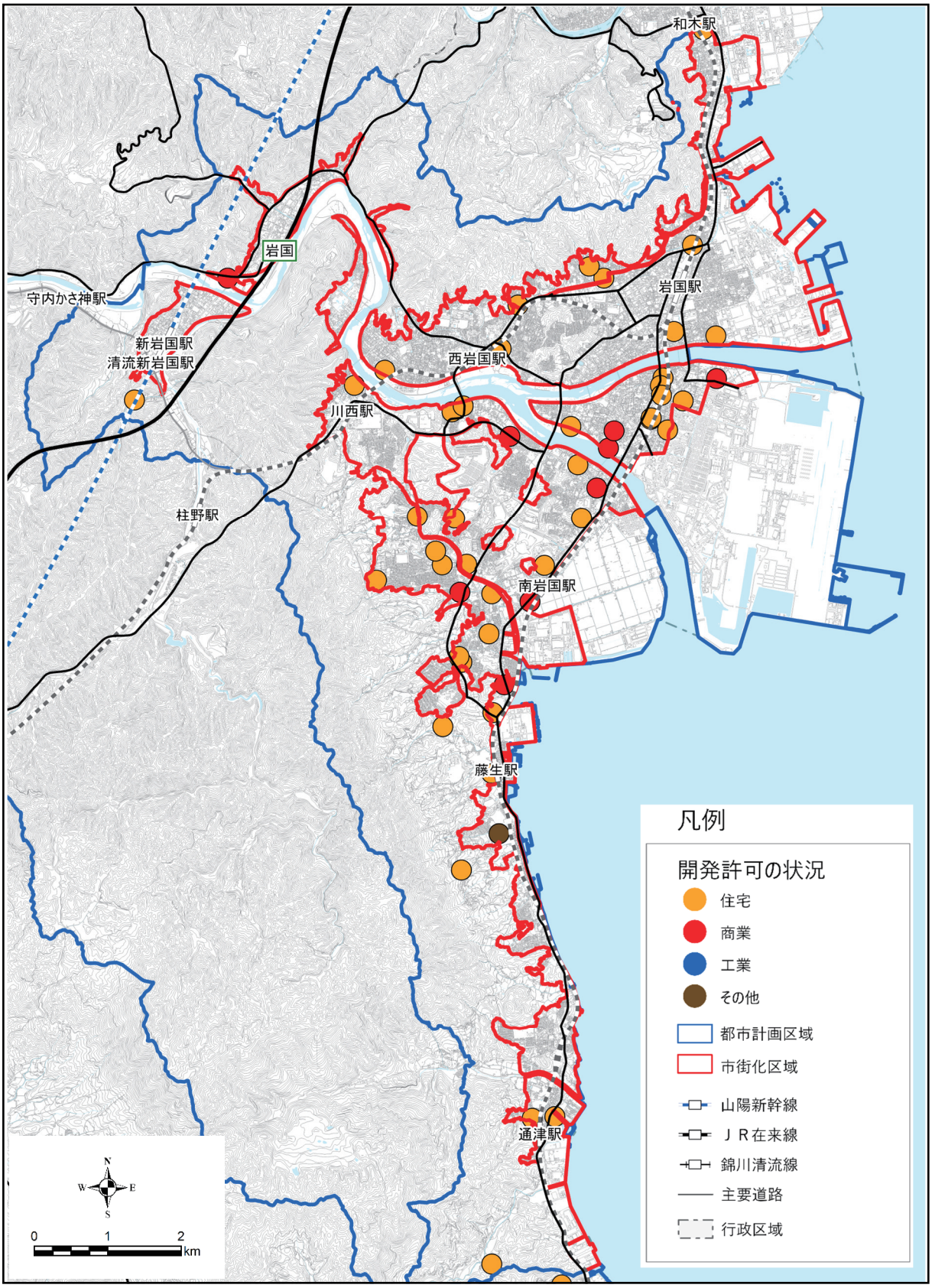
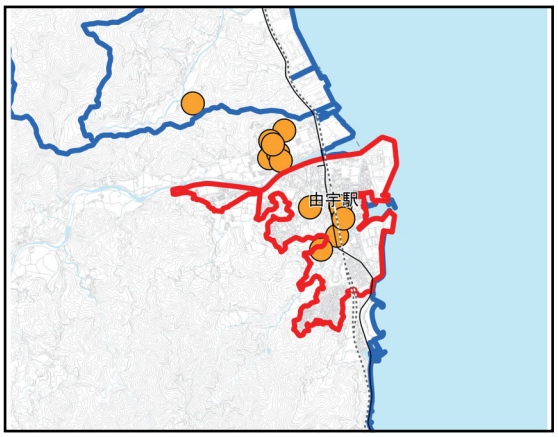


図 2-14　開発許可の状況（2017(平成29)年度～2023(令和5)年度）－1

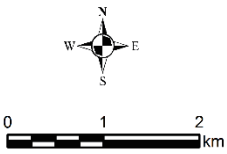
出典：都市計画基礎調査

■開発許可の状況

【由宇地域】



凡例



【玖珂・周東地域】

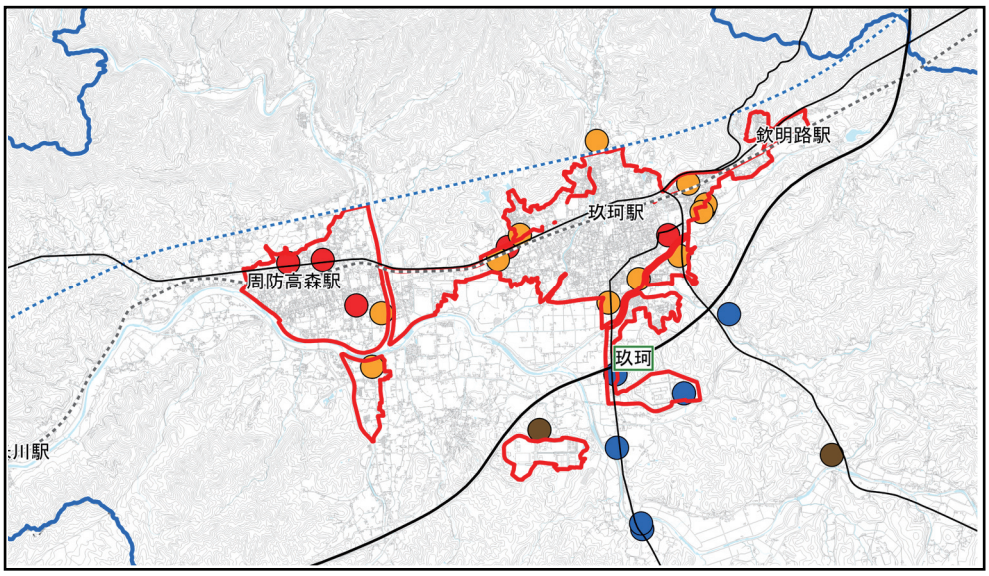


図 2-15　開発許可の状況（2017(平成29)年度～2023(令和5)年度）－２

出典：都市計画基礎調査

表 2-2　開発許可の状況（2017(平成29)年度～2023(令和5)年度）

区域名	単位	市街化区域・用途地域				小計	市街化調整区域・用途白地地域				小計	合計
		住宅	商業	工業	その他		住宅	商業	工業	その他		
岩国（線引き都計）	（件）	36	9	0	1	46	5	0	0	0	5	51
	（%）	70.6%	17.6%	0.0%	2.0%	90.2%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	100.0%
	（㎡）	82,760	27,288	0	94,039	204,088	1,655	0	0	0	1,655	205,743
岩国南（非線引き都計）	（件）	13	5	2	0	20	10	0	4	2	16	36
	（%）	36.1%	13.9%	5.6%	0.0%	55.6%	27.8%	0.0%	11.1%	5.6%	44.4%	100.0%
	（㎡）	50,682	25,979	9,521	0	86,182	17,434	0	14,455	5,203	37,092	123,274

出典：都市計画基礎調査

２－３．都市施設の整備状況

- 本市の下水道処理人口普及率は、2022（令和４）年度末時点で 36.8%となっており、普及率は年々上昇しているものの、依然として低い状況にあります。【図 2-16】
- 地域別下水道全体計画での整備率(2020(令和 2)年度末)にみると、玖珂地域は 89.9%ですが、岩国地域は 27.2%にとどまっており、地域によって公共下水道の整備率に差があります。【表 2-3、図 2-17・18】
- 道路の整備状況は、本市と他都市を結ぶ山陽自動車道、国道２号、国道 188 号、岩国南バイパスのほか、岩国地域と玖珂・周東地域を結ぶ県道岩国玖珂線（欽明路道路）、岩国地域と錦・美川地域を結ぶ国道 187 号などの主要道路が整備されています。
- 城下町や古くからの既成市街地、開発許可制度が創設される前の大規模な開発地などでは、幅員４m未満の狭あい道路が多くみられますが、川下地区では川下地区まちづくり整備計画に基づき狭あい道路整備事業を実施し、良好な市街地環境の改善に取り組んでいます。【図 2-19・20】

■公共下水道整備状況の推移

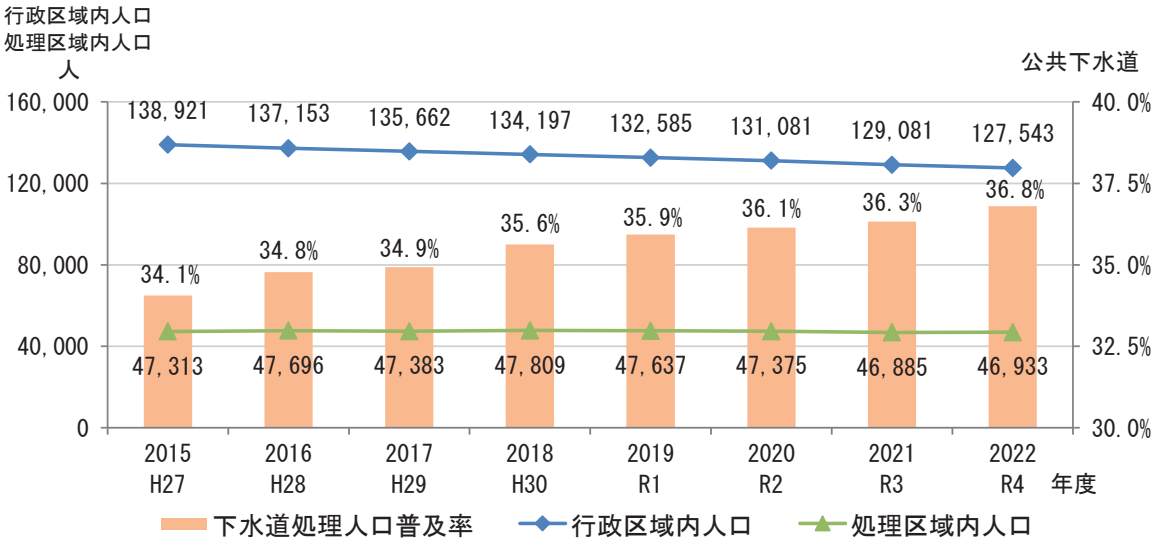


図 2-16　公共下水道整備状況の推移（各年度末時点）

出典：統計いわくに

表 2-3　公共下水道整備状況（2020(令和2)年度末）

処理区	全体計画区域面積 (ha)	事業計画区域面積 (ha)	整備済面積 (ha)	整備率 全体計画 (%)	整備率 事業計画 (%)
岩国地域	2,269.5	1,225.7	618.4	27.2	50.5
由宇地域	147.0	122.9	102.3	69.6	83.2
玖珂地域	300.0	290.6	269.7	89.9	92.8
周東地域	404.7	378.8	267.4	66.1	70.6
岩国市全域	3,205.9	2,102.7	1,342.2	41.9	63.8

出典：岩国市汚水処理施設整備構想(令和4年4月)を加工

■公共下水道整備状況

【岩国地域】

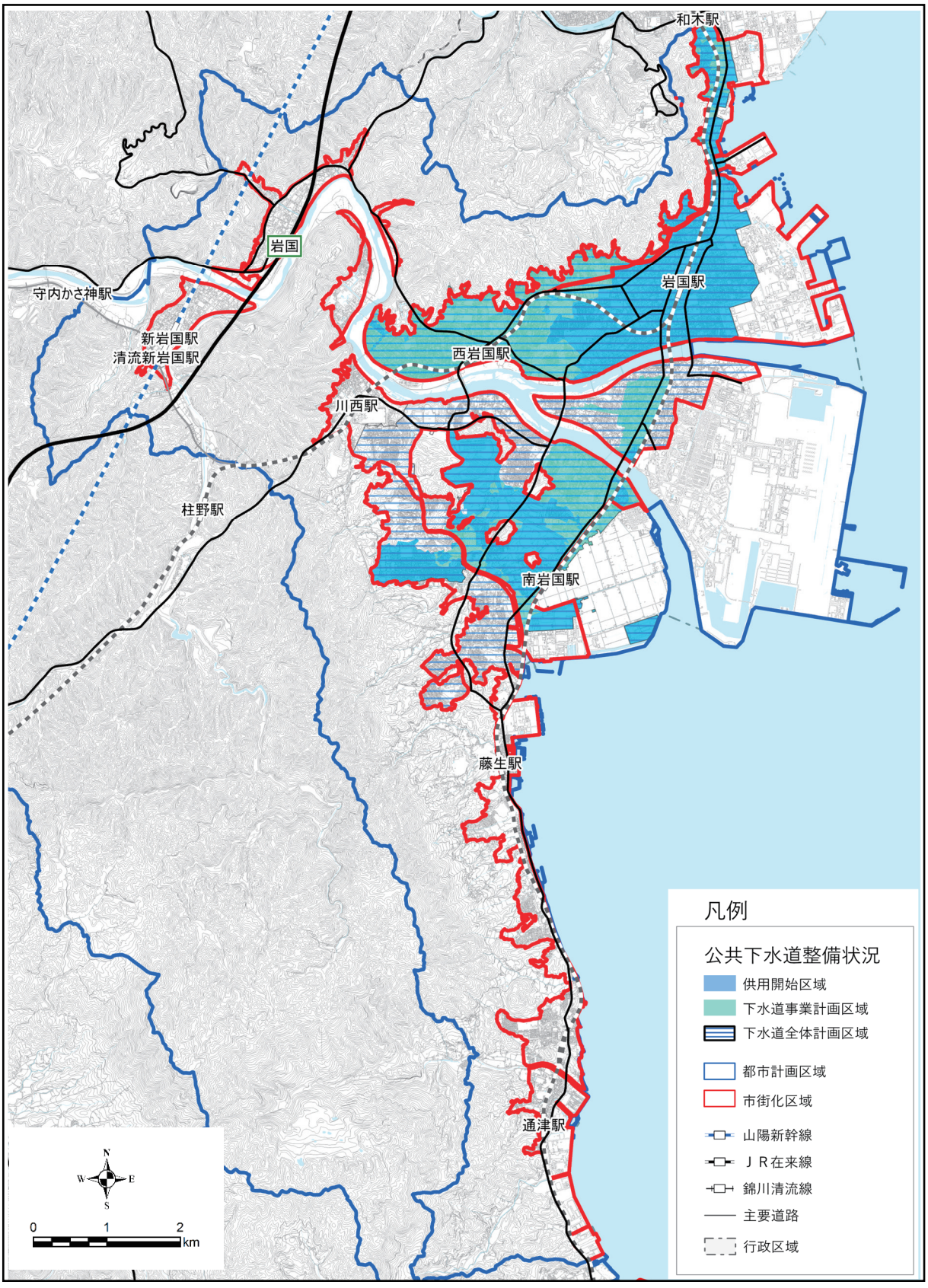
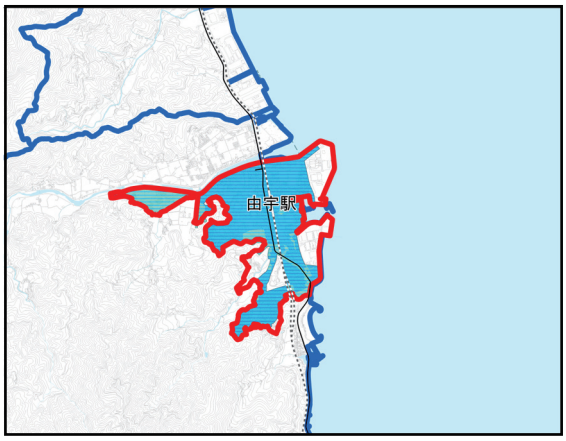


図 2-17　公共下水道整備状況－１

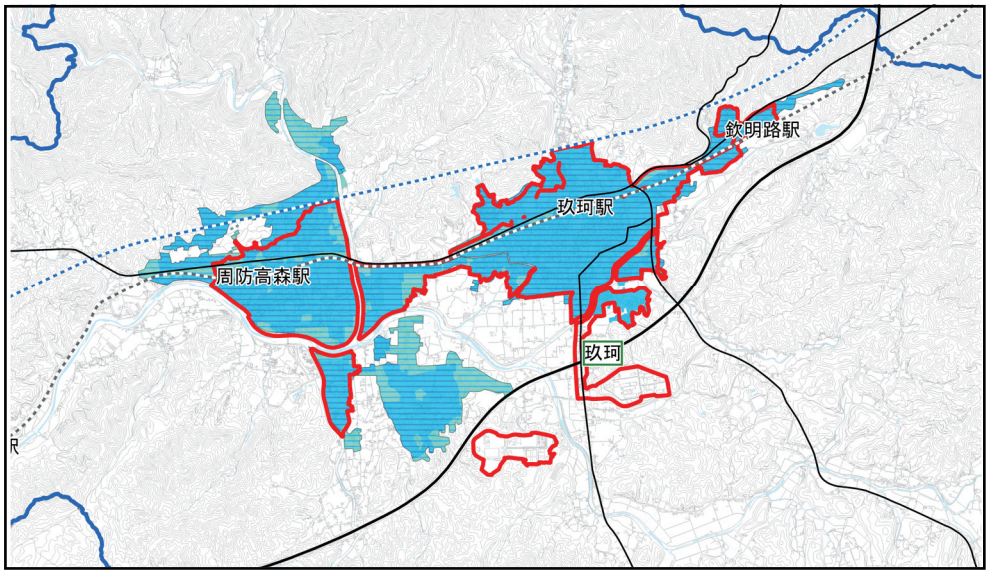
出典：岩国市資料

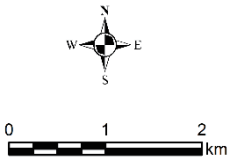
■公共下水道整備状況

【由宇地域】



【玖珂・周東地域】





凡例

公共下水道整備状況

- 供用開始区域
- 下水道事業計画区域
- 下水道全体計画区域
- 都市計画区域
- 用途地域
- 山陽新幹線
- ＪＲ在来線
- 錦川清流線
- 主要道路

図 2-18　公共下水道整備状況－２

出典：岩国市資料

■道路整備状況

【岩国地域】

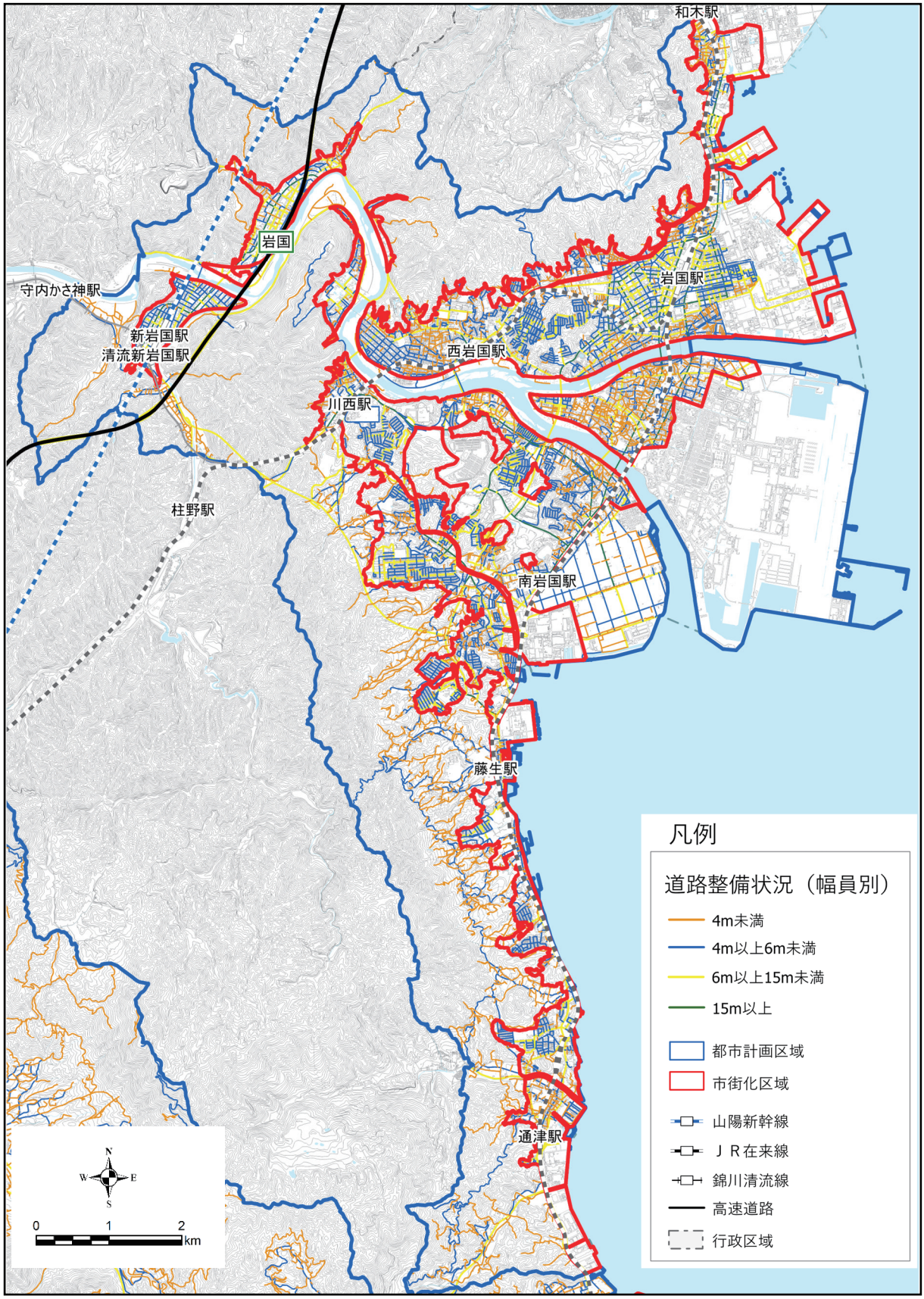
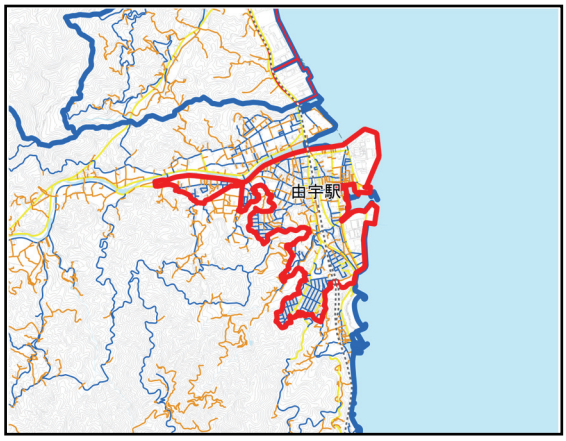


図 2-19　道路整備状況（幅員別）－１

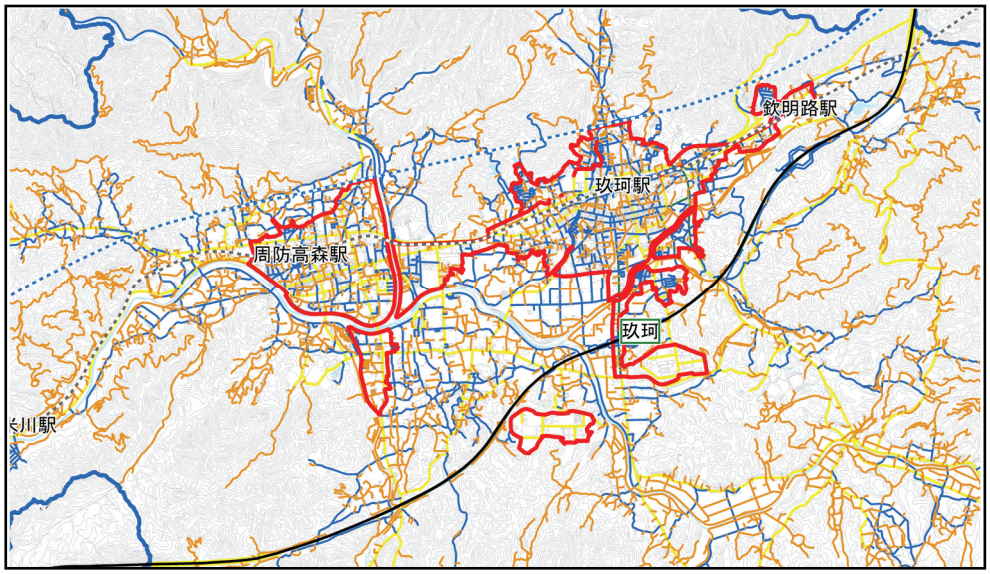
出典：都市計画基礎調査

■道路整備状況

【由宇地域】



【玖珂・周東地域】



凡例

道路整備状況（幅員別）

- 4m未満
- 4m以上6m未満
- 6m以上15m未満
- 15m以上

- 都市計画区域
- 用途地域
- 山陽新幹線
- ＪＲ在来線
- 錦川清流線
- 高速道路
- 行政区域

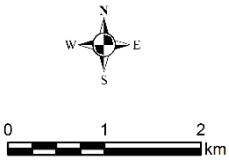


図 2-20　道路整備状況（幅員別）－２

出典：都市計画基礎調査

２－４．公共交通の運行状況

- 鉄道は、岩国駅を中心に沿岸部にはＪＲ山陽本線が運行し、内陸部にはＪＲ岩徳線が運行し、錦・美川地域には錦川清流線が運行しています。【図 2-21】
- バスは、主に岩国地域内ではいわくにバス（株）による路線バスが運行し、それ以外の地域では、防長交通、岩国市生活交通バス等が運行しています。【図 2-21】
- 岩国地域や由宇地域、玖珂・周東地域ともに、市街化区域及び用途地域内では、おおむね公共交通の利用圏域（鉄道駅から８００m圏域又はバス停から３００m圏域）に含まれていますが、横山地区や錦見地区の一部では、鉄道・バスともに利用圏域外となっている箇所がみられます。【図 2-22・23】
- 岩国地域内では、JR や錦川清流線が運行している上、バスも 1 日当たり 20 便以上運行している路線も多く、市内で最も充実している地域となりますが、由宇地域や玖珂・周東地域では、バスの１日当たりの運行便数が多くの路線で 10 便未満となっており、岩国地域と由宇・玖珂・周東地域では差があります。【図 2-22・23】
- 鉄道の利用者数の推移をみると、いずれも減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、2020（令和 2）年度は、大きく減少しています。【図 2-24】
- 路線バスの利用者数は、減少傾向にあるものの、2015（平成 27）年の岩国市交通局廃止によるいわくにバス（株）への完全移管以降、減少は緩やかになり、横ばいから減少傾向で推移していましたが、鉄道と同様に新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、2020（令和 2）年度以降は、大きく減少しています。【図 2-25】
- 生活交通バスの利用者数は、全体的に減少傾向にあります。【図 2-26】

■運行主体別路線図

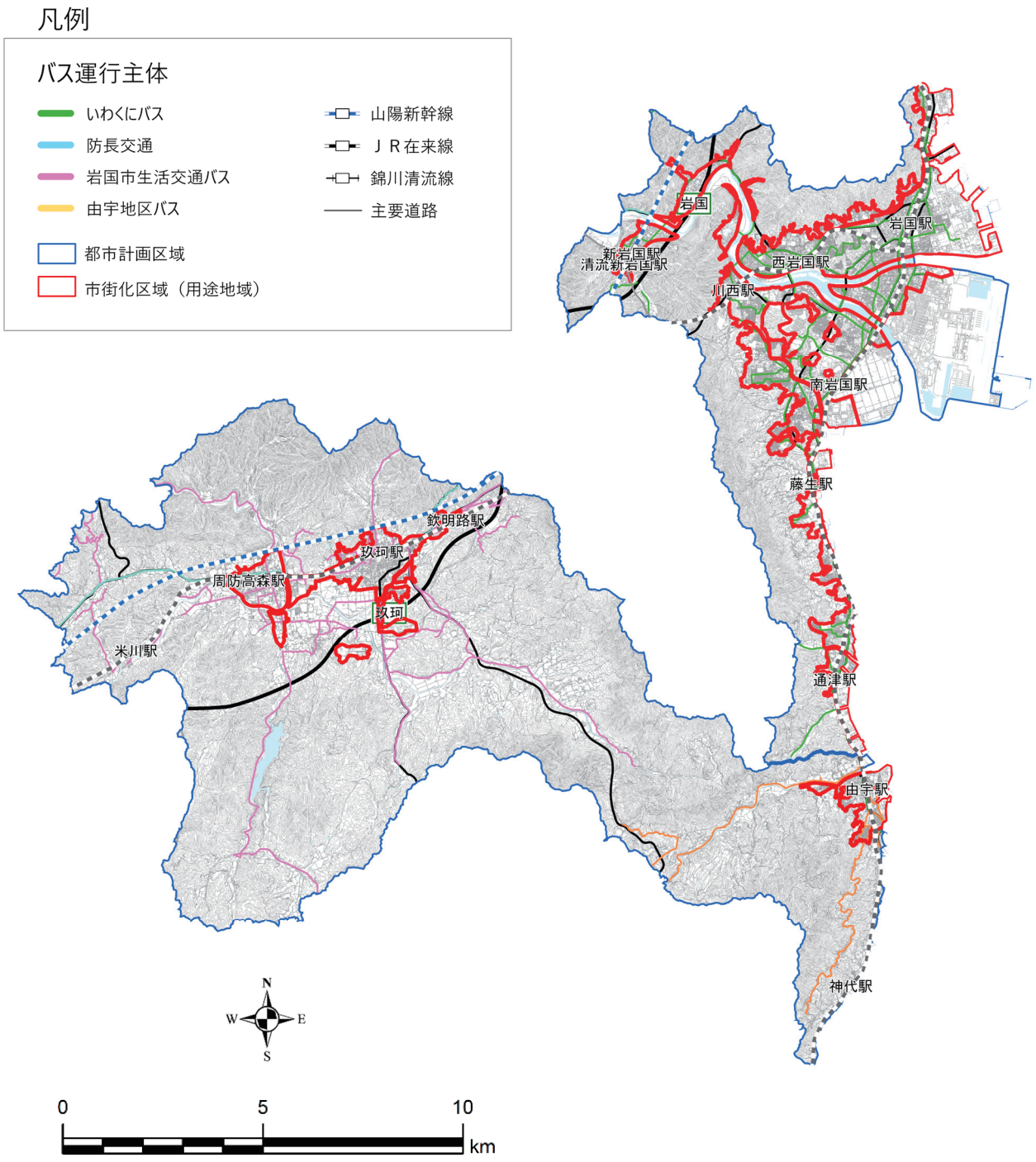


図 2-21　運行主体別路線図

出典：岩国市資料

■公共交通の運行状況と鉄道駅・バス停の利用圏域

【岩国地域】

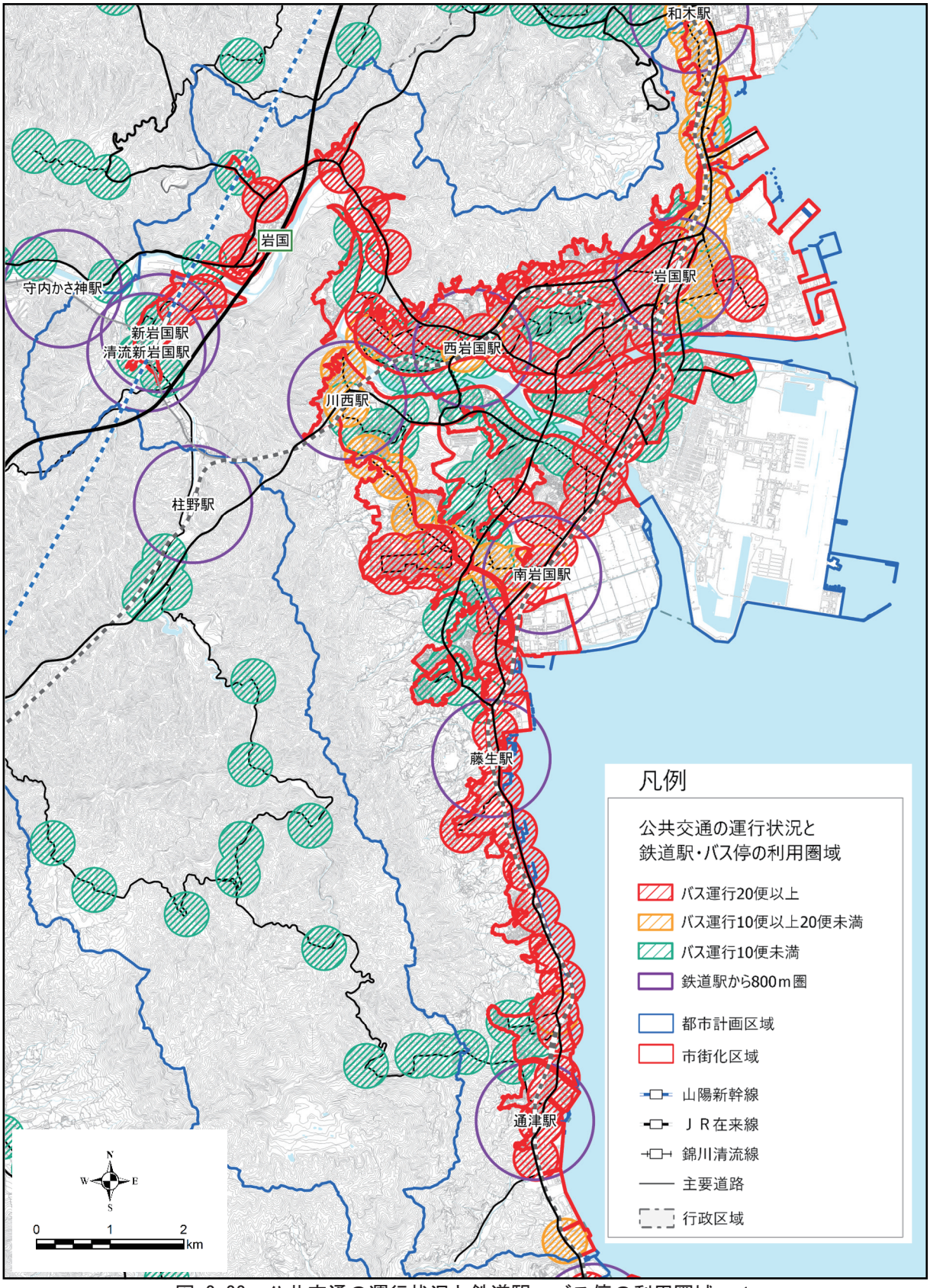
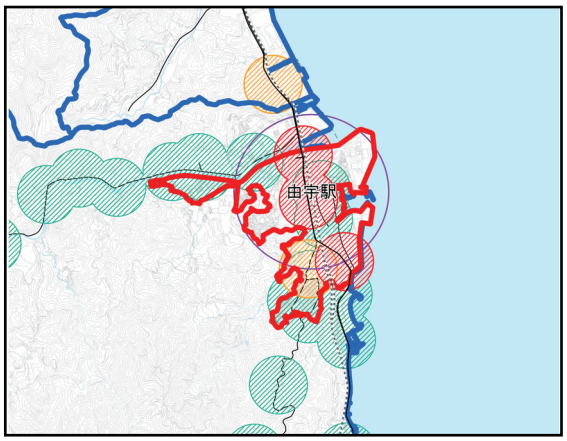


図 2-22　公共交通の運行状況と鉄道駅・バス停の利用圏域－１

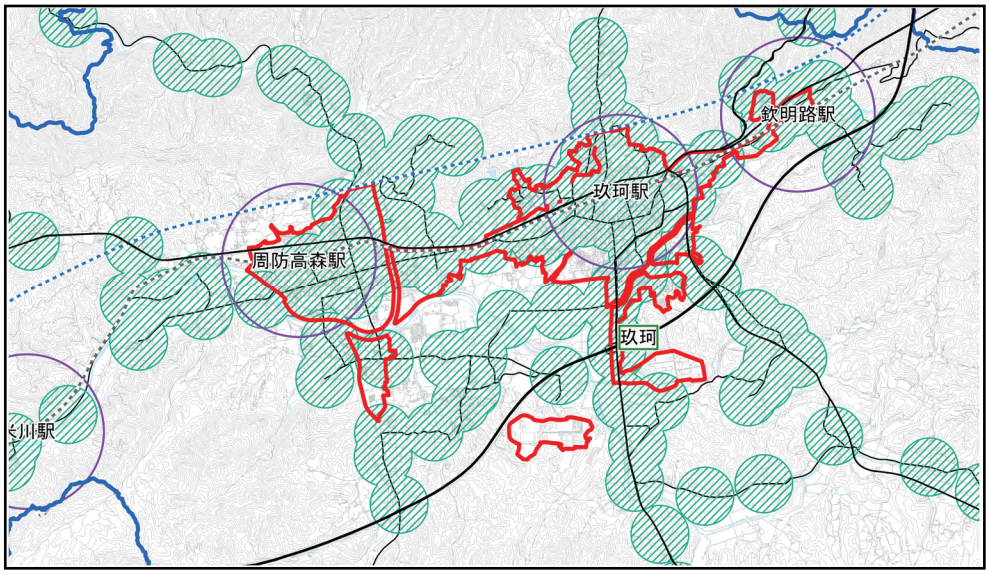
出典：岩国市資料

■公共交通の運行状況と鉄道駅・バス停の利用圏域

【由宇地域】



【玖珂・周東地域】



凡例

公共交通の運行状況と
鉄道駅･バス停の利用圏域

- バス運行20便以上
- バス運行10便以上20便未満
- バス運行10便未満
- 鉄道駅から800ｍ圏
- 都市計画区域
- 用途地域
- 山陽新幹線
- ＪＲ在来線
- 錦川清流線
- 主要道路

N W E S

0 1 2 km

図 2-23　公共交通の運行状況と鉄道駅・バス停の利用圏域－２

出典：岩国市資料

■利用者数の推移

【鉄道】

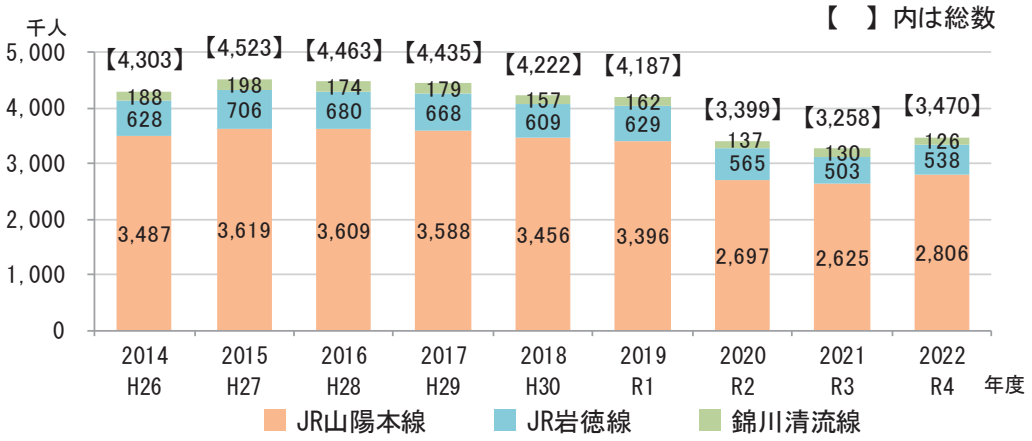


図 2-24　鉄道の利用者数の推移

出典：岩国市資料

【路線バス】

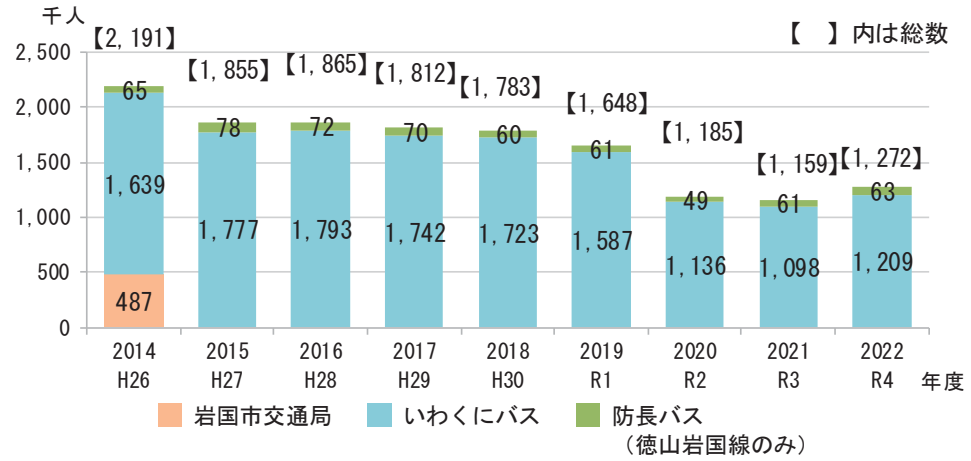


図 2-25　路線バスの利用者数の推移

出典：岩国市地域公共交通計画、岩国市資料

【生活交通バス】

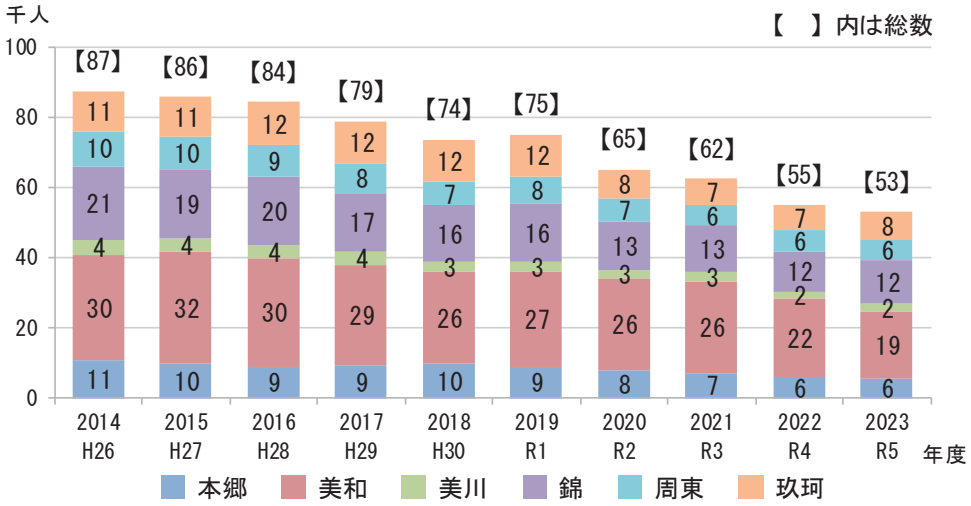


図 2-26　生活交通バスの利用者数の推移

出典：岩国市地域公共交通計画、岩国市資料

２－５．生活サービス施設の立地状況

- 本市の生活サービス施設は、市街化区域及び用途地域内の鉄道駅周辺に集積しています。また、高次都市機能*は、岩国地域に立地しているものが多くなっています。
- **公共機能・文化機能**（市役所、総合支所、支所、出張所、文化ホール、博物館、資料館、図書館、スポーツ施設、公民館、集会所、供用会館）については、岩国、由宇、玖珂・周東の各地域の中心となる鉄道駅周辺に一定程度集約して立地しています。
- **介護・福祉機能**（地域包括支援センター、通所系介護施設、入所・入居系介護施設）については、市街化区域及び用途地域内では、おおむね公共交通の徒歩圏内に立地していますが、一部の施設では徒歩圏外となっています。なお、介護・福祉機能の利用者の多くが、施設運営者側による送迎サービスを利用しています。
- **教育機能**（小・中学校、高等学校等）については、市街化区域及び用途地域内では小・中学校ともに通学圏内となっていますが、主に地区単位で利用することもあり、鉄道駅の徒歩圏ではなく、住宅地内に立地しているところも多くみられます。
- **子育て機能**（認定こども園・幼稚園・保育園、子育て支援施設）については、市街化区域及び用途地域内に多く立地しています。また、主に地区住民が利用することや、施設運営者側による送迎が行われる施設もあることから、小・中学校と同様に住宅地内などにも多く立地しています。
- **医療機能**（病院・診療所）について、市街化区域及び用途地域内に多く立地しており、玖珂・周東地域では、用途白地地域にも立地しています。
- **金融機能**（銀行、信用金庫、労働金庫、郵便局、ＪＡ）については、岩国地域は岩国駅周辺に集積しており、また、幹線道路沿いに多く立地しています。由宇地域、玖珂・周東地域については、鉄道駅の徒歩圏のみに立地しています。
- **商業機能**（スーパーマーケット、コンビニエンスストア）については、岩国駅周辺に多く立地しており、また、各鉄道駅の徒歩圏内にも立地していますが、幹線道路沿いのロードサイド型の店舗も多くみられます。

【図 2-27・28】

■生活サービス施設の分布状況

【岩国地域】

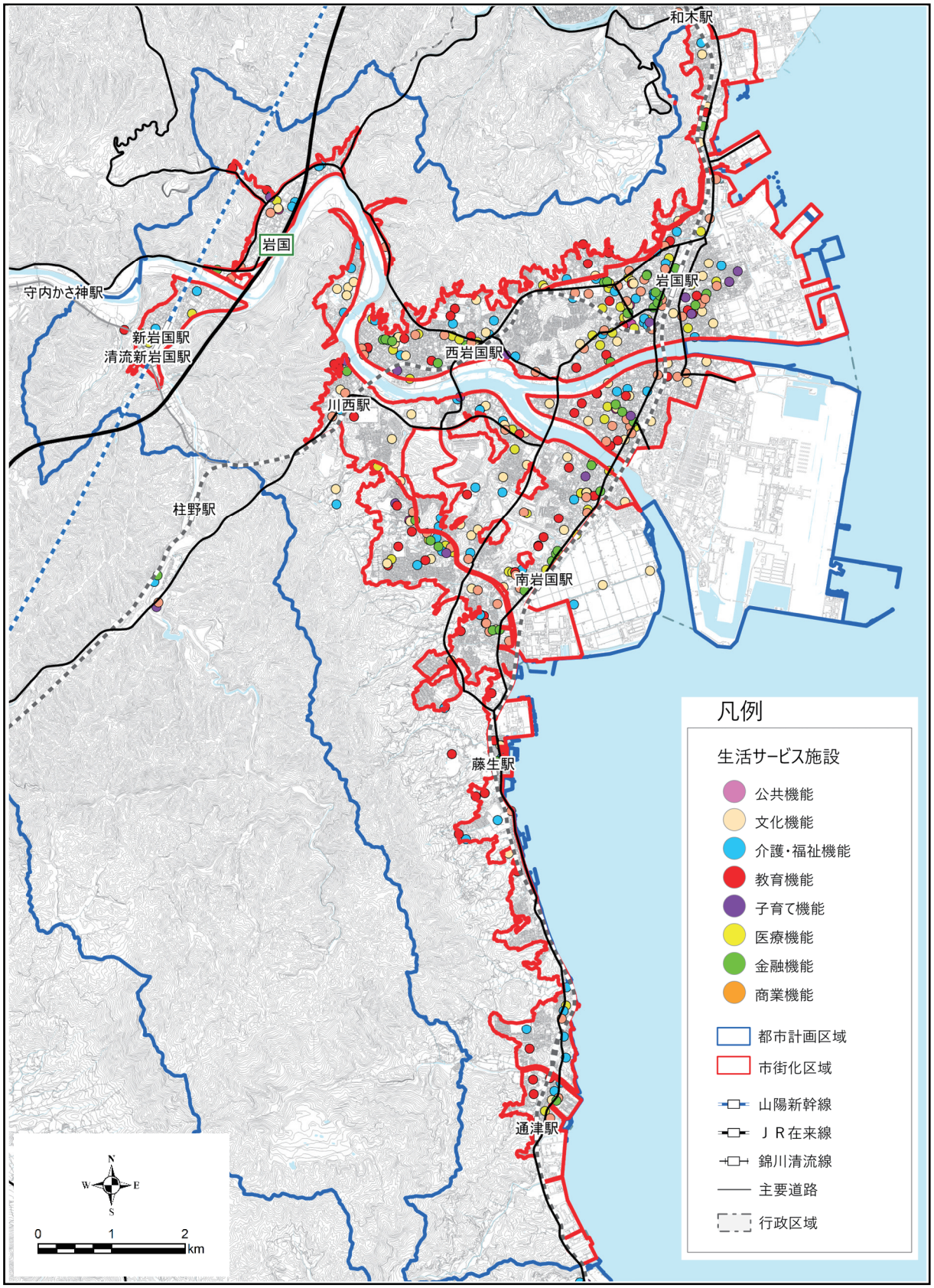
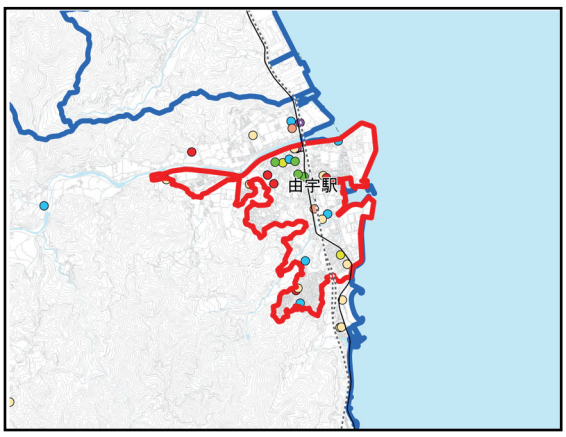


図 2-27　生活サービス施設の分布状況－１

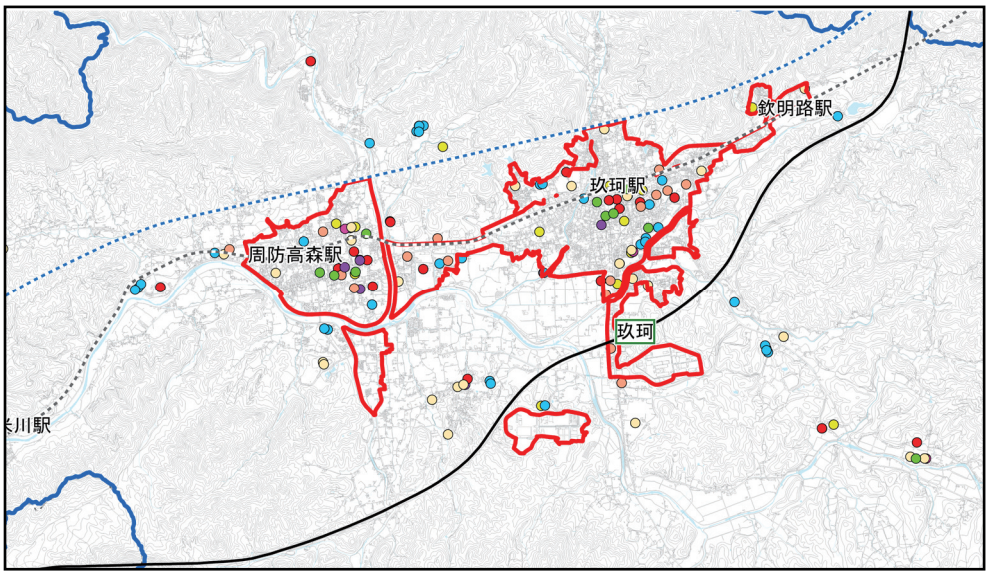
出典：いわくにマップ等

■生活サービス施設の分布状況

【由宇地域】



【玖珂・周東地域】



凡例

生活サービス施設

- 公共機能
- 文化機能
- 介護・福祉機能
- 教育機能
- 子育て機能
- 医療機能
- 金融機能
- 商業機能

- 都市計画区域
- 用途地域
- 山陽新幹線
- ＪＲ在来線
- 錦川清流線
- 主要道路
- 行政区域

N
W
E
S
0 1 2 km

図 2-28　生活サービス施設の分布状況－２

出典：いわくにマップ等